

令和7年度 学校経営計画報告

校長 松井 尚美

令和7年度の学校経営計画による経営について、ご報告いたします。

学校教育目標 (育てたい子供)

「生涯にわたってよりよく生きる力」の基礎をはぐくむ学校
自分の考えもち、すすんで行動し、人の気持ちの分かる子を目指す

自分からすすんで学ぶ子供 (知)、からだをきたえる子供 (体)、思いやりのある子供 (徳)

○学力の定着と向上、組織的な授業改善について

・前年度の学力調査の結果では、読む力の不足から思考・判断を伴う問題に抵抗感があり、個人差が非常に大きいという傾向が見られました。

まず、児童一人ひとりが自分の課題に取り組む時間を確保するために、昨年度に引き続き朝学習の充実に取り組みました。全校共通で火曜日と金曜日のぐんぐんタイムでは日記、語彙調べ、漢字や計算の習熟練習、新聞社説の要旨まとめ等に取り組みました。ぐんぐんタイムは児童自身が目標設定することで、教師もその達成度を把握しやすく一定の効果が見られました。水曜日の読書タイムでは学年や発達に応じた読書活動に取り組みましたが、児童自身に読書に対する充実感をもたせるには至っていないことが課題です。次年度は、読書の楽しさが実感できるような取組をしてまいります。

さらに、校内研究では年4回の国語科の研究授業を実施し、単元における「基礎・基本の力」とそれを身に付けるための指導方法改善に取り組みました。1年生「大きなかぶ」、3年生「わすれられないおくりもの」、5年生「雪わたり」、たんぽぽ学級「のはらうた」で研究を進めました。それぞれ、音読発表会の開催、登場人物に手紙を書く、図書推薦会等を学習のゴールに設定することで、児童が主体的に学習に取り組むことができました。教師が単元のねらいを明確にし、児童が目標設定し学習に取り組むことで主体的な学びにつながるものが改めて共有される機会となりました。次年度も、組織的に授業改善に取り組んでまいります。

・3年生以上の学習指導において教科担任制を実施しました。教師がじっくり授業準備できることで担当教科の指導の質の向上、学級間の指導の均一化、学年間の児童理解が進み、落ち着いた学級経営につながりました。結果として学力向上につながっていくと考えています。

・教員がお互いの授業を参観し合う交流期間を各学期に設定し、授業力向上に努めました。

○言語活動・読書活動の充実について

- ・学校図書館司書と連携し、電子図書活用ガイダンス、百科事典（ポプラディア）活用指導を実施しました。
- ・全学級を対象に「八王子市おはなしの会」の方々による読み聞かせを実施しました。
- ・家庭や地域からの図書寄贈を呼びかけ、学級文庫の充実を図ることができました。
- ・学校図書の充実として日本教育公務員弘済会の図書助成に応募し、10万円分の児童図書寄贈が決定しました。令和8年5月頃に届く予定で、児童の読書活動に活用していきます。

○社会性・人間性の育成について

- ・リーダーシップを育む指導として縦割り班活動（サンフラワータイム）を年間14回実施。その他にもサンフ

ラワー班による全校遠足、縦割り清掃等を実施しました。多様な活動によって下級生の手本となる行動を心がける6年生の姿が多く見られました。次年度のリーダーとしての自覚が芽生えた5年生も多く、4年生以下の児童は、上級生の姿に憧れや感謝の気持ちをもっています。学齢に応じた社会性を育む活動によって、横川小学校の良き伝統が引き継がれています。

・横川サミットや各委員会の委員長が学校生活の諸問題を発見し、解決の方策や学校行事への主体的な取組を計画しました。運動会や音楽会、1年生を迎える会や6年生を送る会等の行事、校内挨拶運動や小中合同の挨拶運動を自発的に行い、身近な社会との関わりの中で自分を生かす力が育っていきました。

・特別支援学級（たんぼぼ学級）と通常の学級が交流する機会として、運動会や校外学習の行事、縦割り活動、委員会活動、クラブ活動等を行いました。日々の交流として給食交流も実施しました。

○健康の維持・推進について

・東京都児童体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果から、どの学年も体格においては東京都の平均並みと言えます。体力・運動能力においては、学年によって全国平均を上回る種目もありますが、概ね全国平均をやや下回る結果となっています。差は極わずかなので、日々の学校生活や体育の授業内での取組や工夫により、子供たちの体力向上が望めると考えています。

・年間を通して体育委員会や保健委員会等の各委員会が企画した運動や健康を意識した活動がありました。特に3学期のランラン大会に向けては全校で持久走に取り組むことができました。

・今年度はインフルエンザ等による学級閉鎖が多くありました。急な学級閉鎖のお知らせになってしまいましたが、ご協力いただきありがとうございます。今後も手洗いとうがいの励行を引き続き指導していきます。

○環境学習・郷土学習の推進について

・1、2年生は生活科の時間を活用して学校周辺に足を運び、地域の自然に触れ、地域の人々と交流する活動をしました。

・3年生は「八王子の魅力発見」をテーマに、自分たちの住む町や八王子市の良さを見付けたり伝えたりする学習を実施しました。カイコのお世話をすることで養蚕業が八王子市の大切な伝統文化だったことを学びました。

・4年生は「共に生きる」をテーマに、八王子市社会福祉協議会、高齢者施設、東京ヴェルディと連携した学習を進め、「高齢者」「障害者」についての理解を深めました。

・5年生は「環境」「SDGS」をテーマに身の回りから社会的課題に目を向けた学習を進めました。浅川の環境に着目し、児童が課題設定し調査を進めました。

・6年生は日光移動教室をきっかけに八王子市と日光市の歴史的関係、「日本の文化」や「世界遺産」について学びました。自身のキャリア形成に生かす学習では、公認会計士の方をお招きする等して様々な「職業」について学びました。

・たんぼぼ学級は、大学の先生を招いて八王子の特産「桑」について学習しました。桑の葉パウダーを使った調理実習も行いました。

○安全・安心の確保について

・いじめ対策として週1回のいじめ対応の時間を実施、スクールカウンセラーと連携し、早期発見、早期対応に努めました。いじめ対策委員会で認知した事案については、毎週のいじめ対応の時間での状況確認と3か月間の見守りを徹底し、該当者及び保護者に確認しながら解消をしています。3学期に認知した件については、新年度も引き続き見守りや対応を行います。

・年度当初、不登校傾向の児童が全校で数名いました。理由は様々で個別の対応を行ってまいりました。時間をずらした登校、別室対応、一人1台の学習用端末の活用、専門機関との連携等により、ほとんどの児童が日

常に登校できるようになってきました。

・交通安全教室や SNS 等のセーフティ教室を学年の発達に応じて実施しました。しかし登下校時の歩行の様子について、地域の方からご指摘をいただくことがあります。また、下校後の自転車走行や公園等の遊び方にも課題があり、生活指導部を中心に指導を継続しています。全校で指導を継続しておりますので、ご家庭におかれましても声掛けのご協力をお願いいたします。

○保護者・地域との連携 について

- ・個別相談に丁寧に対応することを目的とした個人面談を年間2回設定しました。夏休みには全家庭、2学期末には各学級半数程度の保護者の方と面談を実施しました。
- ・学校運営協議会の協力により、地域の子供は地域で見守ることを目的とした、横川中学校区の令和7年度版コミュニティカレンダーを作成し、横川小学校、横川中学校、近隣の幼稚園と保育園、地域で希望される方に配布しました。本校の学校ホームページではカラー版が掲載されています。令和8年度版コミュニティカレンダーは4月頃に配布（掲載）予定です。
- ・青少対主催の「花いっぱい運動」により校庭や校門の花壇にたくさんの花を植えていただきました。
- ・青少対と保護者と教師の会の支援により2学期にスポーツ遊具を寄贈していただきました。
- ・青少対クリーン活動の取組（3回）には、多数の小中学生が参加しました。
- ・学校運営協議会のご協力で、横川中学校と連携した「漢字検定」「英語検定」を実施し、学力向上の一助となりました。
- ・1年生の生活科や5年生の総合的な学習の時間に、横川幼稚園、横川保育園、光明第四こども園の年長児と交流しました。新たに「幼保小の架け橋期のカリキュラム」作成に取り組み、育てたい子どもの姿を共有しました。

○特色ある学校づくりについて

- ・縦割り班活動（サンフラワータイム）では、全6年生が班のリーダーとして活躍しました。年間を通した班編成により、一緒に遊んだり話し合ったりする機会を積み重ね、全校遠足では協力して活動する姿に成長していきました。リーダーとして活躍する6年生を下級生が頼もしく感じ、日常的に慕う姿は横川小学校の伝統となっています。
- ・横川中学校と連携した小中一貫教育として、相互授業参観、行事参加、6年生の中学校授業体験、児童会と生徒会交流活動を実施、定期的な情報交換や協議を行いました。
- ・「横川小音頭」は、児童会「横川サミット」が練習を企画し、今年も運動会で披露しました。各町会の夏祭りでも取り上げていただき、参加児童が地域の方々と楽しく交流することができました。

○組織体としての学校機能について

- ・施設や設備の維持・管理として、校庭遊具の補修や定期的な樹木の剪定・点検を行い、近隣への落葉や倒木の防止に努めてきました。
- ・学校ホームページの構成を見直し、必要な情報の取得がしやすくなるように努めました。また、更新頻度を高め、児童の日頃の学校生活をお伝えできるように心がけました。学校便りは各学年の情報を掲載する内容へ刷新、紙媒体でのお知らせから Home&School 配信に移行して、迅速な情報共有と紙使用削減に努めました。
- ・節水、節電、裏紙の活用、教材のデジタル化、会議資料の PDF 化をし、コスト削減を徹底しています。
- ・教員一人ひとりが教育公務員としての自覚をもち法令の順守やサービスの厳正に努めるため、週1回服務事故防止研修を実施しています。
- ・横川学童、放課後子供教室と日常的に連携し、児童一人ひとりの学校生活と放課後の活動において切れ目のない情報共有を図りました。